

寄付・寄贈

ありがとうございました。心より感謝申し上げます。 (令和5年10月16日~令和5年12月15日)

鈴木 敏雄様 ワークセンター今川様 みんなの家 家族会様 こんふおーとリアン 家族会様
 スリーピース様 前田 孝司様 他匿名希望者 10名 (順不同)

寄付金(令和5年度)累計額 774,560円

紅葉・遊覧船レクリエーション / 住宅支援部 主担 山下 雅史



紅葉が見頃の11月30日(木)に全体レクリエーションで大阪城公園へ行きました。道中の和食さと杭全店で、とんかつ定食・天ぶら定食・にぎり寿司の小町セットの中から利用者様のご希望の昼食を召し上がられた後、目的地へ向かいました。園内の紅葉狩り散策以外に利用者様の楽しみたいことを取り入れ、大阪城天守閣見学コース、大阪城港から出航の水上バス周遊コース、大阪城公園散策コースに分かれ、それぞれ秋の行楽を楽しみました。大阪城公園散策では気持ち良い秋晴れのもと、綺麗に染まった紅葉を見て回りました。大阪城天守閣見学では道中に急な坂もあるルートをしっかり歩かれた後、天守閣から見下ろす庄巻の眺望を喜ばれていました。水上バス周遊は船内の座席までの経路に傾斜や階段がありましたが、安全に移動を行い、周遊中は岸から手を振る人達に手を振って応じられる利用者様もおられ、水上からの大阪の風景を眺めながら楽しんで過ごされていました。今回のレクリエーションでは、利用者様にそれぞれの希望の行楽を楽しんでいただけた1日となりました。



新入職員挨拶

生活介護リアン 三村 支援員



令和5年9月1日よりハピネス班で生活支援員として働かせていただいています。三村と申します。以前までは高齢者施設やグループホームで勤務をしていました。生活介護事業所で働くのは初めてなので、上司や先輩の方々から沢山のことを学んでいきたいと考えています。だんでらいおんを利用して下さっている皆様を毎日楽しんで過ごしていただけるように日々の業務に当たります。ご家族の皆さまには送迎などでお会いすることもあるとお思いますので、お声をおかけいただけると嬉しく思います。どうぞよろしくお願いたします。

生活介護リアン 斉藤 支援員



令和5年9月1日よりひだまり班の生活支援員として入職しました。私の長所である持ち前の明るさや今まで培ってきた知識、経験を活用し、利用者様に寄り添った支援ができるように日々の業務に努めてまいります。また、利用者様の意思決定を大前提により良い支援を末永く提供する事ができるように精進してまいります。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



編集後記

皆様、明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いたします。新しい年を迎え皆様方におかれましてはどのような年始をお過ごしでしょうか。昨年は色々な事が動き出した1年でした。だんでらいおんは旧年につづき、たくさんの活動を行って参ります。紙面にてご報告させていただきますので、本年も機関紙たんぼぼ通信をご愛顧頂きますようお願い申し上げます。
(担当 森・池田)



特定非営利活動法人 だんでらいおん

たんぼぼ通信

令和6年 年賀号

No.40

障がいの重度化・高齢化、親の高齢化に対応できる 共生型の施設づくり及び地域社会を目指して

発行元: 特定非営利活動法人 だんでらいおん
 発行責任者: 久保 哲哉
 〒546-0023 大阪市東住吉区矢田5-9-8
 TEL: 06-7668-1101
 発行日: 令和6年1月1日

謹賀新年



新年のお慶びを申し上げます

旧年中は格別のご厚情を賜り深く御礼申し上げます

本年も何卒宜しくお願申し上げます

年賀の挨拶

理事長 久保 哲哉

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましてはつつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年は多くのお力添えをいただき誠にありがとうございました。

今年も更なる事業拡大やサービスの質の向上に対して職員一同努めて参ります。皆様のより一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう心よりお願申し上げます。

さて、いよいよ令和6年度 診療報酬・介護報酬・障がい福祉サービス等報酬の同時改定が大詰めを迎えようとしております。特に私どもの法人経営に最も影響を及ぼす障がい福祉サービス等報酬につきましては12月に『基本的な方向性について(案)』が示され、間もなくより詳細な内容、加算・研修要件、報酬単価等が示されることとなります。私の率直な感想としましては、要件はかなり厳格化されると感じております。最近では虐待や不正請求など毎日のようにニュースで不祥事を目にするようになり、併せて、私どもの法人にも嫌な話が聞こえてくることが多くなりました。利用者様が安全で安心してサービスが受けられるよう厳格化はやむを得ないと考えております。当法人も気を引き締めて向上に取り組んで参ります。また、国の資料によりますと、事業者・利用者様は増えていますが障がい福祉に携わる職員(専門職)が減っていると示されています。大きな問題です。このような状況が続けば、縮小・閉鎖、人権侵害が横行し、障がい福祉の崩壊に繋がりがかねません。法人の努力・障がい福祉に携わる職員(専門職)の努力も必要ですが、質の高いサービスを提供・維持・向上するためにも専門職に見合う賃金アップ・経営の安定など未来が描ける報酬設定を期待したいと願っております。

当法人は「だんでらいおん50年構想 基本ビジョン(2005年~2055年)」を軸に、今年は3歩前に進めていきたいと考えております。最優先事項はグループホーム(短期入所と併用の日中サービス支援型共同生活援助)の開設です。今年度は運営方針・支援内容・事業責任者の選定・入居希望などニーズの把握・スケジュール等を行う準備委員会(仮)を法人内に設置することを目標としています。また、公益の増進を目的とした法人として、社会福祉協議会・自立支援協議会・関係機関との連携を更に強化して、法人内の組織体制を再編しながら、より一層、積極的に地域への社会貢献に参画していきます。

本年もだんでらいおんをどうぞ宜しくお願申し上げます。

一泊旅行

通所支援部 主任 東中尾 竜治

令和5年9月15日(金)~16日(土)にかけて、和歌山県白浜方面へのこんふおーと・リアンの一泊旅行を実施しました。新型コロナウイルスの流行により、中止していた一泊旅行ですが、令和元年以来4年ぶりの全体行事の一泊旅行を開催することができました。旅行を心待ちにされている方や、だんでらいおんで初めて参加する利用者様もおられました。予定していた利用者様・職員全員が参加することができ、天候もよく幸先のよい始まりでした。

観光バスに乗って向かった最初の目的地は日高郡にある「レストラン雲水」で、熊野牛を使用したすき焼きを頂きました。昼食後は1日目のメインである「エネルギーランド」へ行きまし。園内では数名ずつグループに分かれて行動し、驚き映像エリア・写真スポット・フードコート等で、皆さんで楽しみを共有しながらそれぞれの楽しみ方で参加されていました。

今年の宿泊先「白浜キーテラスシーモア」に到着し、温泉で日ごろの疲れを癒してから宴会が始まりました。豪華な懐石料理に笑顔いっぱいの利用者様の姿が見られました。カラオケ大会では好きな歌を力いっぱいに歌われる方、歌を聴いて体を動かす方がたくさんいらっしゃり、賑やかな宴会となりました。

2日目の「アドベンチャーワールド」ではパンダや象等、普段見ることのない動物が気になり興味津々の利用者様方。イルカショーでのイルカのジャンプやトレーナーと息の合ったパフォーマンスを見て、客席から「おー」「すごい」「はやい」等の歓声が聞こえていました。その後、観光バスでサファリツアーに参加して、観光バス内からゆったりとしながら眺めたり、ガイドのアナウンスで詳しく動物のことを観察したりすることもできました。2日目の昼食は「とれとれ市場」にて海鮮料理を食べました。海鮮料理が食べられない方には、別メニューに変更することで、最後まで食事を楽しんでいただけるように手配いたしました。存分に楽しまれられたようで、帰りのバス内では眠られる方がほとんどでした。

2日間通して体調を崩される方もなく、有意義な2日間でした。また、日中ではあまり見られない一面が見られたことや日中活動に取り入れる要素も見つかり、利用者様の経験の拡大だけではなく、職員にとっても良い経験になりました。4年ぶりの一泊旅行は沢山の思い出ができた行事となりました。



ふれあい祭り

共同生活援助 主担 西野 恵美

令和5年10月21日(土)第18回矢田ふれあい祭りに出店いたしました。今回よりふれあい祭り実行委員会にも参加し、企画段階から他の法人様とも意見交換をさせていただきました。当法人の出店内容については担当職員と相談しながら、飲食店にしようかゲームにしようかと試行錯誤しましたが、最終的にホットドッグと飲み物の販売をする事に決定しました。ふれあい祭り当日は朝から冷え込みが激しく、雨天も気になりましたが、開催中は雨に見舞われる事なく、沢山の方が来場されました。販売開始時は、担当職員も慣れない作業に戸惑う様子も見られましたが、徐々に慣れてくると各自の持ち場を手際よくこなし、開始時間から次々と来店して頂いたおかげで、用意した215個のホットドッグを完売する事が出来ました。お昼頃には当法人の利用者様も来店されました。美味しそうに召し上がり、中には店頭で手を叩きながら呼び込みをされる利用者様もいらっしゃいました。当法人一丸となって、ふれあい祭りを盛り上げる事が出来たのではないかと思います。ふれあい祭り実行委員会の方々をはじめ、当日来店して下さった方々、応援に駆けつけて下さった法人関係の方々には感謝の気持ちでいっぱいです。



創立記念式典

共同生活援助 副主任 柳澤 正博

秋晴れの晴天に恵まれ、11月3日(金・祝)に創立18周年を迎えました。今年は3年振りとなる利用者様と家族様が一堂に会しての式典と食事会を行いました。今回、永年勤続職員表彰として、勤続10年を迎えた東中尾主任・山下主担・世話人の伊藤さんの3名に表彰状と記念品が贈られました。式典では、例年にはない催し物でバルーンアートパフォーマーのにじいろ風船師みずきさんをお呼びし、バルーンアートショーやバルーン教室をしていただきました。ショーではいろいろな色の風船を使用し、傘や動物など見ている私たちにわかりやすいように作っていただきました。またバルーン教室では利用者様が家族様と一緒に教わりながら、普段触れることのない風船でクリスマスのリースを作られました。出来上がったリースを頭に被られたり、腕に通され皆様とても楽しそうに取り組まれていました。式典後は、和食かこの屋へ移動して食事会を行いました。メニューは、かこの屋御膳とすき焼き定食より選んでいただき、どちらもボリュームがあり皆様美味しく召し上がられていました。食事の後は利用者様一人ひとりに18周年を迎えた気持ちを言葉にして頂戴したりと、有意義な食事会になりました。これから19周年・20周年と迎えていく中で、その時代にあったより良い行事を創って参ります。

